

北海道大学低温科学研究所共同利用研究集会
「南極表面雪中に含まれる不純物解析と物質起源・輸送過程の復元に関する研究集会」

日程： 2013 年 9 月 3 日

会場： 北海道大学 低温科学研究所 2F 講義室

プログラム

9月3日(火) 発表 20分、質疑応答 10分

9:15-9:20 挨拶 古川義純(北大低温研所長)

9:20-9:25 趣旨説明・諸連絡

9:30-10:00 JARE54 の表面積雪観測と過去のデータについて
本山秀明(極地研)

10:00-10:30 南極沿岸部での海塩粒子分布と季節変化
原圭一郎(福岡大)

休憩 15分

10:45-11:15 南極氷床積雪から探るエアロゾル輸送
鈴木利孝(山形大)

11:15-11:45 顕微ラマン分光法を用いた南極表面雪の物理化学分析
大野浩(北見工大)

11:45-12:15 南極表面雪に含まれる水溶性エアロゾル組成
飯塚芳徳(低温研)

昼休み

14:00-14:30 DFS10 (JARE51) 表面積雪+浅層コアのイオン濃度と水同位体比、過去 2000 年
の新結果
望月優子(理研)

14:30-15:00 ドームふじ浅層コアの密度と化学イオンの相関
堀彰(北見工大)

15:00-15:30 南極内陸における積雪表層の化学成分(仮)
保科優(名古屋大)

休憩 15分

15:45-16:15 砂丘移動の数値モデルを応用した積雪分布モデルの開発
谷口圭輔(名古屋大)

16:15-16:45 積雪同位体モデルの構築
藤田耕史(名古屋大)

16:45-18:00 総合討論